

平成15年9月24日

沖縄総合事務局

沖縄県

## 「沖縄における道路事業業績計画書」について

道路行政においては、平成15年度より「成果主義」の考え方にに基づき、道路事業の成果を表す指標（アウトカム指標）を用いて、事前に数値目標を設定し、事後に評価を行い、以降の施策・事業に反映する新たな行政運営の仕組み（行政マネジメント）を導入します。

その一環として、沖縄県の現状と課題についてアウトカム指標を用いて明らかにするとともに、アウトカム指標を用いて改善に向けた目標値を県民の皆様明らかにするものが「沖縄における道路事業業績計画書」です。

計画書は、県民の皆様に対する説明責任を果たし、評価を受けることで、より透明性・客観性の高い、効率的・効果的な事業展開を図る事を目的としています。

計画書の策定にあたっては、沖縄地方道路懇談会（座長：琉球大学名誉教授 上間清氏 別紙参照）を開催し、委員の方より様々なご意見を頂きました。

今回の計画書は初の取組みであるため、今後加筆・修正を加え、内容の充実を図っていく予定ですので、皆様からの御意見をお寄せ下さい。

つきましては、「沖縄における道路事業業績計画書」を策定しましたのでお知らせします。

なお、本計画書は、下記のホームページに掲載しております。

道路部門ポータルサイト <http://www.road.dc.ogb.go.jp/index.html>

### 問い合わせ先

沖縄総合事務局 道路建設課（TEL098-866-0091）

企画調整官 稲野 茂

道路計画調整官 照屋 正史

沖縄県 道路建設課（TEL098-866-2390）

道路建設課長 伊波 興静

課長補佐 砂川 勝彦

## 沖縄地方道路懇談会メンバー

座長	上間 清	琉球大学名誉教授（交通計画）
メンバー	富川 盛武	沖縄国際大学教授
メンバー	比嘉 良雄	沖縄県公安委員会委員
メンバー	儀間 紀善	那覇商工会議所副会頭
メンバー	中根 学	沖縄タイムス編集局論説委員
メンバー	富田 詢一	琉球新報社論説副委員長
メンバー	佐渡山美智子	(有)フリーランスネットワーク代表
メンバー	備瀬ヒロ子	(株)都市科学政策研究所代表取締役所長

### < 事務局 >

沖縄総合事務局

沖縄県

(財)国土技術研究センター

**「平成 15 年度 沖縄における道路行政の業績計画書」【概要版】**  
 ~ 初めて1年後の数値目標を宣言し、成果主義の新たな「道路行政マネジメント」をスタートします ~

平成 15 年 9 月 24 日  
 内閣府沖縄総合事務局 沖縄県

**業務計画策定の背景**

平成 14 年 8 月の社会資本整備審議会・中間答申において  
 道路行政をアウトカム指標に基き運営を行う方式に転換し、毎年度、指標に基づき業績の分析・評価を行い、その結果を予算編成等に適切に反映させるシステムを構築すべきであると指摘された。

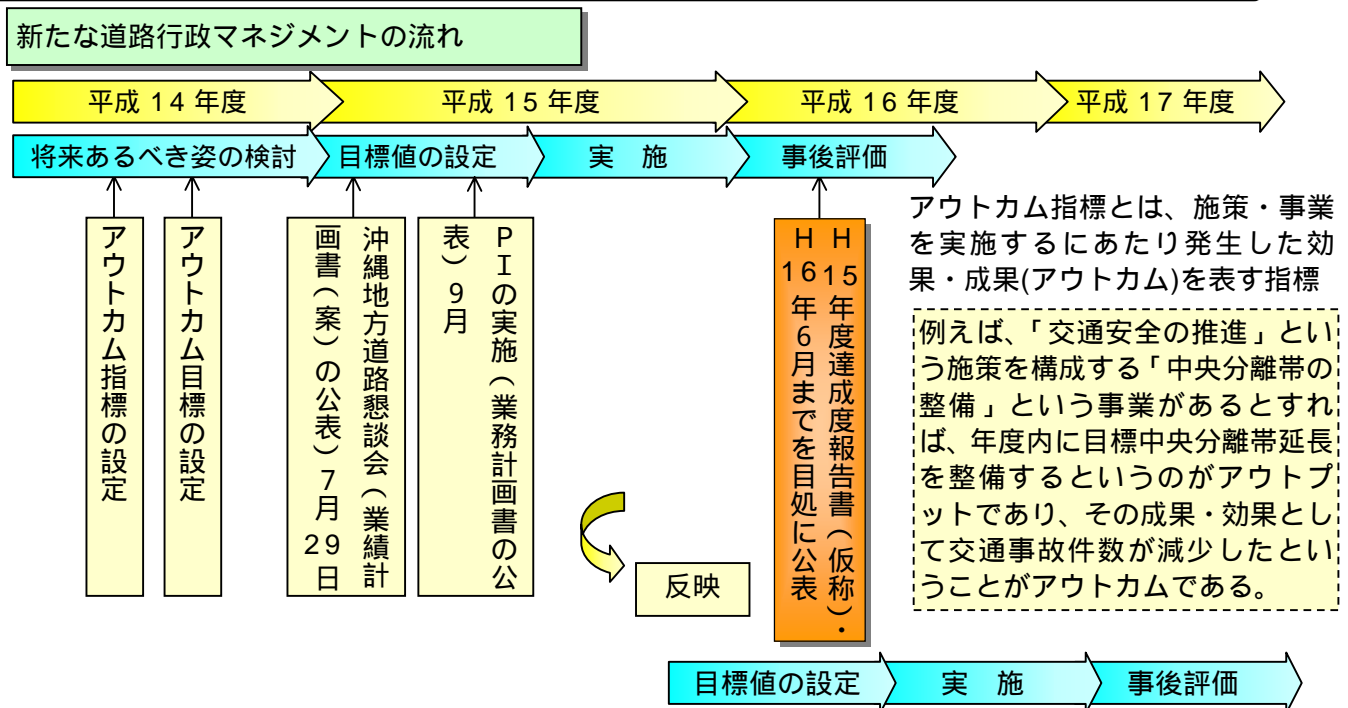
平成 15 年 6 月の道路行政マネジメント研究会提言において  
 地域の特性や地域ごとのニーズに応じた、即地性のある道路行政マネジメントを進めるため、また、出先部門まで成果主義を徹底させるため、都道府県ごと等、地域レベルにおいても業績計画書を策定した上で達成度を把握・評価し、その結果を以降の施策・事業に反映するしくみを構築すべきであると示された。

平成 14 年 7 月の沖縄地方道路懇談会提言において  
 道路整備にあたっては投資効果の評価項目を多面化することにより、道路事業者と道路利用者において共通認識が持てる事業評価となるよう、新たな評価軸を設定し、システム化を行うことが必要であると示された。

これらの指摘を踏まえ、平成 15 年度より沖縄における新たな道路行政マネジメントを実行に移すため、「沖縄における道路事業業績計画書」を作成するものである。

**業務計画書の目的**

- 1. 厳格な評価とその結果の反映による効率性の向上**  
 計画書で示された数値目標や、それを実現するための道筋や手段の妥当性については、年度終了時に厳しく評価され、「達成度報告書(仮称)」としてとりまとめ公表する。ここでの評価結果は、次年度以降の予算や行政運営に反映していくことで、成果主義を徹底し、行政の意識改革につなげるものである。
- 2. 数値目標及び評価結果を公表することによる透明性の向上**  
 計画書においては、目指す成果を、県民の生活実感にあった指標を用いた数値目標として事前に公表し、その実現のための手段の妥当性を明らかにすることによって、県民と行政が課題と目標を共有することを可能とする。これにより、道路行政における成果重視の姿勢を明確にするとともに、県民と行政の信頼関係を再構築し、行政の透明性の向上を図るものである。



## 12指標を用いて1年後の数値目標を示した「業績計画書」を策定

平成15年度予算に基づく道路行政の成果について、「道路渋滞による損失時間」や「道路交通における死傷事故率」、「道路満足度」など、12の指標を用いて1年後の数値目標を設定し、目標達成のための施策や事業の妥当性ととも「道路行政の業績計画書」としてとりまとめ、公表します

### 沖縄県におけるアウトカム目標

政策テーマ	アウトカム項目	アウトカム目標			平成15年度の主要事業概要・施策
	項目	現況値	H15年度	H19年度	
連携を強化し、交流を促進する道づくり	日常生活の中心となる都市まで、30分以内で安全かつ安定的に走行できる人の割合	64%	67%	78%	-一般国道329号南風原バイパス -一般国道331号豊見城道路
	規格の高い道路を使う割合	6%	6%	7%	-那覇空港自動車道(豊見城IC～那覇空港南(仮称)) -沖縄西海岸道路(那覇西道路) -一般国道58号名護東道路 -沖縄自動車道の通行料金の低減に係わる措置の継続
都市部の交通渋滞を緩和する道づくり	道路渋滞による損失時間	62百万人・時間/年	61百万人・時間/年	59百万人・時間/年	-バイパスの整備(沖縄西海岸道路等) -一般国道58号伊差川交差点(交差点改良) -高速バス・モノレール社会実験 -バス停の環境整備:上屋設置2箇所、ベンチ設置1カ所 -那覇ICから首里駅に向けた右折車線の設置 -バス位置情報提供:当面1路線で実施、順次拡大
	E T C利用率	1%	5%	大幅増	-沖縄道未整備ICへの整備(北中城IC、沖縄北IC、屋嘉IC、金武IC)
	路上工事時間	621時間/km・年	590時間/km・年	約2割削減	-道路管理者が行う工事の集約化 -占用企業者別の路上工事実施状況の公表の検討 -道路利用者への情報提供
観光を支援し、環境を保全・創造する道づくり	夜間騒音要請限度達成率	91%	92%	94%	-一般国道58号宜野湾市伊佐地区 -一般国道330号那覇市安里～古波蔵地区
安全で安心な暮らしを実現する道づくり	道路交通における死傷事故率	69.8件/億台和	68件/億台和	63件/億台和	-那覇空港自動車道(豊見城IC～那覇空港南(仮称)) -沖縄西海岸道路 -一般国道329号石川バイパス(4車化)
	1日当たりの平均利用者数が5,000人以上の旅客施設周辺等の主な道路のバリアフリー化の割合	21%	30%	76%	-県庁前線外1線街路事業
	事前通行規制実施に伴う孤立人口の縮減	2,600人	2,100人	1,900人	-一般国道58号宇良拡幅 -一般国道58号謝敷拡幅
ゆとりある個性豊かな地域を創出する道づくり					
道路行政の転換	利用者満足度	2.7	2.7	3.0	-グループインタビューの実施
	ホームページアクセス数	4.6万アクセス/年	27万アクセス/年	107万アクセス/年	-ホームページの充実 -利用者のニーズ把握 -携帯電話による情報提供
	ボランティア・サポート・プログラムの参加団体数	17団体	毎年増加		-PR -表彰